

第3回府中市教科用図書採択地区選定委員会 議事録

日 時 令和6年7月16日（火） 13：30～18：30

場 所 府中市教育センター第一・第二会議室

出席者 渡部光昭会長、高本智義副会長、吉岡史裕委員、住田孝正委員
榎本直揮委員、北川浩一郎委員、杉原満治委員、奥村圭太委員

【高本副会長】

これから、第3回府中市教科用図書採択地区選定委員会を行います。

みなさん、お忙しい中お集まりいただき、ありがとうございます。

本日も前回と同様、教科書の選定をしていただくわけですが、調査員の説明を聞くことに加え、不明な点は質問をしていただき、それぞれの教科書の特徴について協議していただきたいと思います。どんな些細なことでも構いませんので、お気付きの点等ございましたら、ぜひ全体へ広めてください。全員で、協議を進めてまいりましょう。よろしくお願いいたします。

それでは、事務局より事務連絡をお願いします。

【大垣主査】

まず、配付資料の確認をいたします。レジュメ、資料2－2調査報告書、資料3－2評価表、前回の議事録です。過不足がございましたらお知らせください。

続いて、前回の議事録についてです。前回同様、本日中に確認をして、ご署名、押印をお願いいたします。

前回、大変充実した選定協議を行ってくださりありがとうございました。本日ですべての教科用図書の調査報告が終わります。この報告を受け、本選定委員会には、府中市教育委員会に答申をしていただくことになります。

資料2－2は、今回、調査報告を受ける教科の調査報告書となります。また、資料3－2はその教科の評価表となります。評価の基準は前回お伝えしたとおり、基準は、「2」として、特に顕著な教科書は「3」、あまり顕著ではないと判断されるものは「1」という基準で評価をしてください。よろしくお願いいたします。

この後、調査員から報告を受けます。本日は、レジュメに示してございます、6つの教科についてです。調査報告は、前回同様、マーカーを入れながらお聞きいただきたいと思いますと考えております。進行についても前回と同様に行い、予定時間内に評定が終わらなかった教科については、16時40分からの時間で再度協議を行っていただきます。

府中市の子供たちが使用する教科用図書の選定が厳粛且つ適正に行われるよう、御協力をお願いいたします。それでは、保健体育科の教科書の準備をお願いいたします。

【高本副会長】

それでは、調査員の調査研究報告をお願いします。なお、ポイントを絞って10分以内で報告をお願いします。

【調査員】

ただいまより、保健体育科の教科用図書の調査報告をさせていただきます。よろしくお願いいたします。

まずは、東京書籍の特徴について、各観点で特徴的な視点の番号をお伝えします。

第1の観点は、視点①

第2の観点は、視点④

第3の観点は、視点⑥

第4の観点は、視点⑧

第5の観点は、視点⑩が特徴的でした。

さらに、東京書籍の教科書で最も特徴的なものは、第4の観点の視点でした。具体的には、すべての単元において発展的な内容の資料が掲載されています。例えば、「章末資料」50ページに「胎児を育てる母体の神秘 胎盤とへその緒」という資料が掲載されています。自らの日常生活について考えさせるような内容が扱われていました。

続いて、大日本図書の特徴について、各観点で特徴的な視点の番号をお伝えします。

第1の観点は、視点②

第2の観点は、視点④

第3の観点は、視点⑥

第4の観点は、視点⑧

第5の観点は、視点⑩が特徴的でした。

さらに、大日本図書の教科書で最も特徴的なものは、第2の観点の視点でした。具体的には、各小単元において「活用して深めよう」として、学習した知識を基にさらに深く考えるような、思考力を高めるような設定がしてあります。さらに、「やってみよう」「話し合ってみよう」「調べてみよう」で、協働的な活動を促すことで、思考力、判断力、表現力等が育成される問いが設定されていました。

続いて、大修館書店の特徴について、各観点で特徴的な視点の番号をお伝えします。

第1の観点は、視点①

第2の観点は、視点④

第3の観点は、視点⑤

第4の観点は、視点⑧

第5の観点は、視点⑩が特徴的でした。

さらに、大修館書店の教科書で最も特徴的なものは、第2の観点の視点でした。具体的には、「章のまとめ」として学んだことを活用し、改善策や解決策を考え、答えを導き出す問いを設定しています。「学習のまとめ」では、多様な表現活動を提示し、自らの思考の過程等を客観的に捉えたり、集団として考えを形成したりするなど、思考力・判断力・表現力等を育成できる問いが設定されていました。

続いて、学研の特徴について、各観点で特徴的な視点の番号をお伝えします。

第1の観点は、視点①

第2の観点は、視点③

第3の観点は、視点⑥

第4の観点は、視点⑧

第5の観点は、視点⑩が特徴的でした。

さらに、学研の教科書で最も特徴的なものは、第1の観点の視点でした。具体的には、章扉に単元の学習内容の概要・単元を構成する学習内容を示しています。また、1見開き1時間構成とし、始めに「ウォームアップ」として学習の課題に関連した身近な話題を取り上げ、その後に学習課題を示していました。

以上で、保健体育科の教科用図書の調査報告を終わります。

【高本副会長】

それでは、今の調査報告を受けて、調査員に質問はございませんか。

【槇本委員】

東京書籍の特徴的な部分として、全ての単元で発展的な内容の資料が掲載されているとありますが、実際に指導する上で役立ちますか。それとも実際、授業ではあまり触れないのでそれほど重要ではないのでしょうか。

【調査員】

授業をしていく上で、日常生活について考えさせる内容の取り扱いがあるというのは、授業者としては大変ありがたいです。学習内容と日常生活を繋げることは、子供たちにとって難しいことがあります。授業は授業、日常生活は日常生活となりがちですが、このように日常生活と繋げて考えさせるような内容があることで、学習することの意味に気付かせることができると思いますので、授業者としてはありがたいです。

【杉原委員】

保健分野の性に関わる場所についてですが、特にLGBTQ等々の課題を踏まえたときに、性の多様性について、発行者によって何か特色はありますか。

【調査員】

私が把握する範囲では、特化している教科書はありません。

【杉原委員】

扱っている、あるいは扱っていないという教科書はありますか。

【調査員】

全ての把握はできていませんが、性の多様性についてはどの教科書でも触れられていると思います。

【槇本委員】

直感的なもので構いませんが、近年、薬物についての事件が近隣でもあり、身近なものになってきているため、危機感をつのらせているところです。その薬物乱用等に関して、最も丁寧に取り扱っているのはどこの教科書会社だったかという印象がありますか。もしくはそれぞれの取り扱いの違いについて、どこも同じなのかあるいは教科書会社で違いがあるのかどうかを知りたいです。

【調査員】

特段大きな違いはないと思います。しかしながら、デジタルコンテンツをどの教科書会社も取り入れている中で、東京書籍の種類、量が多いです。二次元コードを読み込めばワークシートも出てきます。

【高本副会長】

では、調査員の方、ありがとうございました。

これより、協議を行います。調査員からの報告書をもとに、その通りという意見でもいいですし、その他の点についてでも構いませんので、意見を出してください。

【高本副会長】

先ほどの話にもありましたが、性の多様性については現在教えている中で評価が少し難しいところがあります。新しい教科書では、性の多様性について十分に取り上げられているとよいと思いました。

全てを見ていませんが、東京書籍に性の多様性について掲載されています。現在、保健体育科の教諭は近年のデータをわざわざ入手して説明していると思います。現行の教科書ではなかなか難しいところもありますので、ある程度教科書で扱われていればよいのではないかと思います。

【杉原委員】

確かに指導する上で非常に気を遣う部分だと思います。特に当事者がいる場合はかなり気を使うと思います。東京書籍は、詳細ではないですが、基本的な考え方が扱われています。

【北川委員】

学研は 66 ページに LGBT と SOGI について用語の説明があります。

【槇本委員】

大修館も 40 ページから 44 ページにわたって性の多様性について書いてあります。

【杉原委員】

集中的というよりも広く散りばめているという感じで書かれてあります。

【奥村委員】

東京書籍で特に特徴的な部分として、第 4 観点の⑧と先ほど調査員の報告にありました。章末資料として、どの章にも本文では書ききれなかったプラスアルファの情報があります。もっと知りたい、もっと日常生活の繋がりを学びたいと主体的に学んでいく子供たちにとっては、効果的だと思います。

心肺蘇生法についてですが、現在気温が高くなってきており、例えば部活の時に突然異変が生じるということがあるかもしれません。そういった視点で見比べてみますと大日本図書については、107 ページから見開きでわかりやすく示されています。一方、東京書籍は順番が書いてありますが、大日本図書の方が詳しくわかりやすいです。授業で実際に演習をすることが最善だと思いますが、できない場合でも子供たちに示しやすいと感じました。

【杉原委員】

先ほど、心肺蘇生についての話がありましたが、東京書籍の場合は巻末のスキルにまとめて取り上げられています。止血について、心肺蘇生、AED 等が掲載されています。まずは手順を示した上で胸骨圧迫、心肺蘇生の方法、AED のような整理をされているので比較的わかりやすいと感じました。

【北川委員】

先ほどの性の多様性についてです。槇本委員が言われた大修館は、LGBT という言葉を使っていますが、改めて見ると詳しく細かく書いてあります。また不安や悩みなどを漫画に

してあります。府中市内の学校でも性の多様性を考慮し、制服が新しくなっています。制服のデザイナーに聞く性の多様性についてのコラムがあり、これからはどの学校も制服から性の多様性を意識するような雰囲気が出てくると思います。そのような意味では、性の多様性に関しては大修館が詳しく示していると思いました。

【北川委員】

現在と昔を比べると、現在は花粉症も含めてアレルギーに気を付けて生活している子供たちが多い印象をもっています。見る限り、全部の教科書会社に載っているわけではないのは意外でした。東京書籍と学研には、アレルギーについての記載がありました。子供たちに関わることで、アレルギーやストレス等について丁寧に記載している教科書の方がよいと思っています。

【高本副会長】

それでは、調査報告や協議を元にして、評価表にご記入ください。

【高本副会長】

続いて、美術の調査研究報告に移ります。それでは、調査員の調査研究報告をお願いします。なお、ポイントを絞って10分以内で報告をお願いします。

【調査員】

ただいまより、美術の教科用図書の調査報告をさせていただきます。よろしくお願いします。

まずは、開隆堂の特徴について、各観点で特徴的な視点の番号をお伝えします。

第1の観点は視点②

第2の観点は視点④

第3の観点は視点⑤

第4の観点は視点⑦

第5の観点は視点⑨が、特徴的でした。

さらに、開隆堂の教科書で最も特徴的なのは、第1の観点の視点②でした。具体的には、「美術2・3」の教科書の44ページに示されている「美術の用語」をご参照ください。

続いて、光村の特徴について、報告します。

第1の観点は視点②

第2の観点は視点④

第3の観点は視点⑥

第4の観点は視点⑦

第5の観点は視点⑨が、特徴的でした。

さらに、光村の教科書で最も特徴的なのは、第1の観点の視点②でした。具体的には、中学3年間で必要な技法などが、別冊「資料」にまとめられているのでご参照ください。

最後に、日文の特徴について、報告します。

第1の観点は視点①

第2の観点は視点④

第3の観点は視点⑤

第4の観点は視点⑦

第5の観点は視点⑧が、特徴的でした。

さらに、日文の教科書で最も特徴的なのは、第3の観点の視点⑤でした。具体的には、「美術2・3上」の教科書の23ページ上部の文末にある二次元コードが、「学びのはじめに」という題材導入動画に繋がっています。

以上で、美術の教科用図書の調査報告を終わります。

【高本副会長】

それでは、今の調査報告を受けて、調査員に質問はございませんか。

【高本副会長】

では、私からになります。先ほど、二次元コードのことを説明されましたが、他の教科書とは違う特色があるのでしょうか。

【調査員】

教科書の二次元コードについては、どこも充実していますが、「学びのはじめに」という題材は日本文教出版にしかないため、特徴として挙げました。

【渡部会長】

開隆堂の44ページに示されている「美術の用語」が特徴的だということを説明されましたが、これは他の教科書では中学校レベル以上の用語のことが掲載されておらず、開隆堂のみ中学校レベル以上の用語が掲載されているということでしょうか。

【調査員】

本来、資料集を買わないとわからない専門用語が教科書に掲載されていることが特徴的なので挙げました。

【杉原委員】

鑑賞の指導をされる際に、教科書はどのように使いますか。例えば、教科書に載っているものを取り上げて授業を進めるのか、あるいは教材を補助的に使いながら授業を進めることが多いのかを教えてください。

【調査員】

教科書に載っているものを主に取り扱っていますが、その時代に同じような絵が書かれてるものであったらクロムブックを使い、テレビに映すこともあります。

【杉原委員】

教科書に載っている作品の大きさや色の正確さ等といった点で教科書で違いはありますか。

【調査員】

開隆堂のみが光沢のない紙を使って印刷をしているので、目への刺激が少ないです。絵の細部まで見ることができます。

【住田委員】

開隆堂の表紙の表面には凹凸がありますが、子供たちに教える、体験させる意味では重要なものか教えてください。

【調査員】

興味を引くのでよいと思います。2・3年生の教科書では、完璧ではないですが油絵の具の筆のタッチをまねて線が入っています。美術館に行かなければ見えないところをこの教

科書では感じるができると思います。

【吉岡委員】

子供たちが学んでいく上で必要な知識や技能、特に技能に関する用語欄がわかりやすく掲載されてる教科書会社はどれでしょうか。

【調査員】

光村だけ別冊資料があります。資料集に掲載されているようなことが全てまとめられています。鑑賞時の考え方に必要となる知識及び技能の説明が示されています。

【北川委員】

年表で詳しく書いてある教科書もありますが、現状、美術における外国の歴史を丁寧に教えているのでしょうか。それとも表現を中心に教えているのでしょうか。

【調査員】

表現を中心に教えています。他教科との兼ね合いで美術の歴史を説明するときもあります。

【高本副会長】

では、調査員の方、ありがとうございました。

これより、協議を行います。調査員からの報告書をもとに、その通りという意見でもいいですし、その他の点についてでも構いませんので、意見を出してください。

【高本副会長】

では、私からになります。光村図書の資料は丁寧かつわかりやすくまとめられており、資料を見てイメージしながら作業がしやすいと思います。二次元コードが付いているので、おそらく、さらに細かく見ることもできるのではないかと思います。

【杉原委員】

光村図書についてです。学年が変わっても基本的な技能が資料に集約されているので扱いやすいと思いました。

【渡部会長】

私も光村図書の資料集はよいと思いました。資料集を購入しなくてよい点が魅力です。教材費が抑えられるので、保護者にとっても負担軽減となります。また、道具や技能のみ別冊になっていると、資料集は一生使うことができ、便利なものだと思います。

一方、開隆堂は、学習活動のポイントがそれぞれ書いてあってわかりやすいです。さらに、学習目標の3観点も明確に掲載されているので、評価をするときもわかりやすいです。私は、この2社がそれぞれよいところがあると思いました。

【榎本委員】

開隆堂の表紙の手触りについて、印刷にこだわっているところが非常に特徴的でおもしろいです。私は興味・関心が最も大事だと思っており、例えば1年生の教科書を開いた1番初めに「すずめの戸締まり」という新海誠さんの作品が、2・3年生だと荒木先生の作品が掲載されています。最も子供たち興味・関心を引くと思いますし、おもしろい取り組みだと思います。

日本文教出版も2・3年生上の巻末にある美術年表は、これまで学んだことが当時の世界の流行及び当時の日本の状況について非常にわかりやすく掲載されているので、この美術

年表を見た後に美術史を学習すると理解しやすいとの印象を受けました。

【高本副会長】

それでは、調査報告や協議を元にして、評価表にご記入ください。

【高本副会長】

続いて、理科の調査研究報告に移ります。それでは、調査員の調査研究報告をお願いします。なお、ポイントを絞って10分以内で報告をお願いします。

【調査員】

ただいまより、理科の教科用図書の調査報告をさせていただきます。よろしくお願いいたします。

まずは、東京書籍の特徴について、各観点で特徴的な視点の番号をお伝えします。

第1の観点は、視点①

第2の観点は、視点④

第3の観点は、視点⑥

第4の観点は、視点⑨

第5の観点は、視点⑩が特徴的でした。

さらに、東京書籍の教科書で最も特徴的なのは、第1の観点の視点でした。具体的には、単元や章の前後に「学習前に書こう」「学習後も書こう」を用いて、認識の形成を支援しています。また、単元の終わりには、「学習内容の整理」「確かめ問題」「活用問題」「社会につながる化学」が設定されており、大切な用語の復習から応用まで網羅されています。確かめ問題が2ページ、活用問題が1ページ設定されており、既習事項を用いた問題に取り組めるような内容が充実しています。

続いて、大日本図書の特徴について、各観点で特徴的な視点の番号をお伝えします。

第1の観点は、視点①

第2の観点は、視点⑤

第3の観点は、視点⑥

第4の観点は、視点⑨

第5の観点は視点⑩が特徴的でした。

さらに、大日本図書の教科書で最も特徴的なのは、第2の観点の視点でした。具体的には、第1学年の巻末に「探究の進め方」として、探究の過程を示しており、「問題を見つけよう」「課題をつかもう」「予想・仮説」の流れを1年生の際に重点的に学習できる内容とされています。また、探究を進めるための話し合い活動の内容や方法が整理されており、話すことについて系統的に扱われていました。

続いて、学校図書の特徴について、各観点で特徴的な視点の番号をお伝えします。

第1の観点は、視点①

第2の観点は、視点⑤

第3の観点は、視点⑥

第4の観点は、視点⑨

第5の観点は、視点⑩が特徴的でした。

さらに、学校図書の教科書で最も特徴的なのは、第2の観点の視点でした。具体的には、

単元の初めに「理路整然一智に働けば役に立つ」を設定しており、レポートや発表での意見の伝え方が明確に示されています。また、Can-do List を用いて、単元における目標や学べき内容を示し、学習に意欲的に取り組めるような構成になっています。「どのように学びに向かうか」「理解していることをどのように使うか」などを確認することで、学習に取り組みやすい構成になっています。

続いて、教育出版の特徴について、各観点で特徴的な視点の番号をお伝えします。

第1の観点は、視点②

第2の観点は、視点④

第3の観点は、視点⑥

第4の観点は、視点⑨

第5の観点は、視点⑩が特徴的でした。

さらに、教育出版の教科書で最も特徴的なのは、第1の観点の視点でした。具体的には、観察や実験にあたって使用する器具や装置の操作を巻末資料の「基礎技能」として本文とは区別して示しています。そうすることで、実験技能に関する知識を習得できるようになっています。

続いて、啓林館の特徴について、各観点で特徴的な視点の番号をお伝えします。

第1の観点は、視点①

第2の観点は、視点④

第3の観点は、視点⑦

第4の観点は、視点⑨

第5の観点は、視点⑩が特徴的でした。

さらに、啓林館の教科書で最も特徴的なのは、第3の観点の視点でした。具体的には、巻頭及び巻末に探究の過程の流れを示し、巻末に添付した「探Qシート」に生徒が書き込むことで、探究の過程に沿った学習活動が行えるような工夫がされています。単元ごとに「探Qシート」があるため、年間を通して探究の過程を意識することができるようになっています。

以上で、理科の教科用図書の調査報告を終わります。ありがとうございました。

【高本副会長】

それでは、今の調査報告を受けて、調査員に質問はございませんか。

【杉原委員】

教育出版の特色として、実験や観察の基本技能等が巻末に整理されてあるとのことですが、他の教科書会社の扱いはどのようなものでしょうか。

【調査員】

他の教科書では、基本的に実験の前の段階に使用する実験器具と操作方法が記載されています。

例えば東京書籍の1年生、84ページをご覧ください。どの教科書でも扱われている「白い粉末の見分け方」についてです。これはガスバーナーの利用が必須となっています。ガスバーナーの使い方については86ページに掲載されており、実験に必要な段階で基本操作が学べるようになっています。以降、ガスバーナーを使用する実験がありますが、その都度86ページ確認をしなければなりません。

教育出版は、1年生の271ページから272ページに実験用具の使用方法についての記載があり、単元の中でも実験器具の使用方法が記載されていることが特徴的です。

【楨本委員】

理科離れが最近進んでいるという話もありますが、何か思い当たることはありますか。

【調査員】

理科の学習指導要領では事物・現象と言われていますが、具体的には周りの身近なものと理科の授業が結び付かない生徒が多いため理科離れが進んでいると考えます。

【楨本委員】

周りの身近なものと理科の授業が結び付く資料や記載がある教科書はありましたか。

【調査員】

啓林館の2年生59ページに「部活ラボ」があります。「運動神経は鍛えられるのか？」とあり、スケートボードを例に挙げています。このように、部活動と理科を密接に関係させて考えさせて伝えることができるため、活用できると思っています。

【渡部会長】

第1分野と第2分野について調査員から見られて、教科書会社によって軽重を感じられましたか。もし感じられたのであれば具体的な例を挙げながら教えてください。

【調査員】

実験の手順であったり、進め方は全体的に一緒にはなっていますが、東京書籍は二次元コードの量がとても多いです。1年生の教科書13ページをご覧ください。表紙に「スタート動画」という二次元コードがあり、ワークシートをダウンロードできます。基本的には、どの教科書会社も二次元コードはありますが、東京書籍は生物に関する二次元コードの量がとても多くなっているのが特徴的だと思います。目の前に生き物を準備できない場合もあります。その時に二次元コードを活用して生徒に提示できるようになっているのだと思います。

【渡部会長】

子供たちにとって一番苦手な単元はどこだと思われますか。

【調査員】

私は数学や算数が関連するところだと思います。例えば、1年生で言いますと科学の密度の単元です。密度の計算については、私が授業をする上で子供たちに上手く伝わるよう工夫をしています。

【渡部会長】

数学や算数が関連するところについて、どの教科書が理解がしやすかったですか。

【調査員】

教育出版の1年生の教科書、274ページに「理科で使う算数・数学」とあり、授業でも活用できます。子供たちにもよい思います。また、教育出版の1年生の教科書、106ページをご覧ください。質量やパーセント濃度についてテープ図を使って考える例が掲載されています。小学校でテープを使った授業もされている中で、同じページに「ブリッジ算数」と書かれています。算数と理科の関連性を述べつつ、解き方も様々あり、鍛えられると思います。

【高本副会長】

子供たちが一通り単元の学習を終えた後、自学として教科書を使って振り返りをする際

にどの教科書が一番学習しやすいでしょうか。

【調査員】

東京書籍の1年生、64ページをご覧ください。教科書の太字の語句が1列に並んで整理されていますので、ここを活用して勉強している子供がいます。これは自学にも活用できると思います。

【高本副会長】

では、調査員の方、ありがとうございます。

これより、協議を行います。調査員からの報告書をもとに、その通りという意見でもいいですし、その他の点についてでも構いませんので、意見を出してください。

【渡部会長】

私がいつも報告を見るときの観点は子供たちがわかりにくい単元のところをどうやって教えるかについてです。先ほどの報告で密度とありましたが、確かにそのとおりで、算数・数学との関係を示されているのは他の教科書にはない、1つの特徴的なところだと思います。

また、2年生では、例えば化学反応式、電流のオームの法則、あるいは天気について最新の気象をいかに扱っているのか、天気予報をどのように見ていくのかというところを比較してみるとわかりやすいと思っています。そして、特に圧力について、目に見えないものをいかに具体的な絵や図、イラストで表していくか、イメージしやすくしているかという視点は教科書を選定する上で大事な視点だと私はと思っています。

特徴的なのは、2年生の飽和水蒸気量です。温度によって空気中に含むことができる水分量が変わります。温度が下がると含むことができる水分量が少なくなるので、水滴となって現れます。これは子供たちにとって理解するのは本当に難しいです。この説明で一番よいのは啓林館です。水蒸気量を座席数、水滴の量を客で例えています。座った座席数でパーセントを決めるという考え方です。

一方において、学校図書の「理路整然」についてです。科学的な思考を苦手になっている子供がいます。考察を書く、論理的に物事を考える、実験を比較することが難しいです。先生がこれをわかりやすく指導できるかどうかというのは教師力にかかっているところですが、教科書に説明やヒントが書いてあるので活用できます。

【杉原委員】

探究の部分で見ますと、啓林館の1年生の139ページに「探Q実験1」と記載があります。一般的に実験の解説の部分は、その手順を追っている場合が多いです。しかし、啓林館の場合、課題、仮説、計画と示してあるシートが二次元コードで提供されています。私が授業者とすれば比較的使いやすいです。探究の部分を比較すると啓林館が使いやすいと思いました。

【吉岡委員】

探究の部分と興味・関心を高める、そして、基本的な知識や概念の定着を図る工夫をしているのが啓林館だと私は感じました。

説明にもありましたが、特に知識や概念の定着を図るために、章の終わりに振り返りや学習のまとめ、力試しの問題がある等の工夫が比較的されているのが啓林館だと感じました。

【高本副会長】

理科の学習がどのように普段の生活の中で繋がっていくかという報告が調査員からもありました。「部活ラボ」の説明はありましたが、他にも「お料理ラボ」、「お仕事ラボ」、「防災ラボ」、「深めるラボ」があり、世の中の事象と繋がるようなものが記載されています。学習していることと世の中の事象をつなげるという意味ではおもしろいと思いました。

【高本副会長】

それでは、調査報告や協議を元にして、評価表にご記入ください。

では、ここで休憩をとります。15 時 00 分に再開します。

(休憩)

【高本副会長】

続いて、道徳の調査研究報告に移ります。それでは、調査員の調査研究報告をお願いします。なお、ポイントを絞って 10 分以内で報告をお願いします。

【調査員】

ただいまより、特別の教科道徳の教科用図書書の調査報告をさせていただきます。よろしく、お願いいたします。

まずは、東京書籍の特徴について、各観点で特徴的な視点の番号をお伝えします。

第 1 の観点「知識及び技能の習得」については、視点①

第 2 の観点「思考力、判断力、表現力等の育成」については、視点③

第 3 の観点「主体的に学習に取り組む工夫」については、視点⑤

第 4 の観点「内容の構成・配列・分量」については、視点⑧

第 5 の観点「内容の表現・表記」については、視点⑩が特徴的でした。

さらに、東京書籍の教科書で最も特徴的なのは、第 3 の観点の視点⑤でした。具体的には、各学年で教材の終わりに「plus」のページを設けています。例えば、2 年生では、92 ページで「探究の対話『p4c』」として「対話の流れ」等を記載し、学習過程を示しています。

続いて、教育出版の特徴について、各観点で特徴的な視点の番号をお伝えします。

第 1 の観点は、視点①

第 2 の観点は、視点③

第 3 の観点は、視点⑤

第 4 の観点は、視点⑧

第 5 の観点は、視点⑨が特徴的でした。

さらに、教育出版の教科書で最も特徴的なのは、第 2 の観点の視点③でした。具体的には、各学年の教材の終わりに「学びの道しるべ」を設けたり、3 年生 36 ページにあるように、「ひろば」のページを設けたりして、教材における話し合いを促す発問を示しています。

続いて、光村図書の特徴について、各観点で特徴的な視点の番号をお伝えします。

第 1 の観点は、視点①

第 2 の観点は、視点③

第 3 の観点は、視点⑥

第 4 の観点は、視点⑧

第5の観点は、視点⑩が特徴的でした。

さらに、光村図書の教科書で最も特徴的なのは、第3の観点の視点⑥でした。具体的には、1年生75ページには、「チャレンジ」のページで、テーマに迫る学習過程の例として、「演じて考えよう」を設けています。

続いて、日本文教出版の特徴について、各観点で特徴的な視点の番号をお伝えします。

第1の観点は、視点①

第2の観点は、視点④

第3の観点は、視点⑥

第4の観点は、視点⑧

第5の観点は、視点⑩が特徴的でした。

さらに、日本文教出版の教科書で最も特徴的なのは、第2の観点の視点④でした。具体的には、全学年に、別冊の「道徳ノート」が付属しており、自分の考えや友達の意見等を書く欄を設けています。

続いて、学研の特徴について、各観点で特徴的な視点の番号をお伝えします。

第1の観点は、視点②

第2の観点は、視点④

第3の観点は、視点⑥

第4の観点は、視点⑧

第5の観点は、視点⑨が特徴的でした。

さらに、学研の教科書で最も特徴的なのは、第3の観点の視点⑥でした。具体的には、全学年に「深めよう」のページを設け、学習過程の終末に、1年生25ページには「踏み出そう」、13ページには「生き方につなげよう」の表記があり、自己を見つめられるように工夫されています。

最後に、あかつき図書の特徴について、各観点で特徴的な視点の番号をお伝えします。

第1の観点は、視点①

第2の観点は、視点③

第3の観点は、視点⑥

第4の観点は、視点⑦

第5の観点は、視点⑨が特徴的でした。

さらに、あかつき図書の教科書で最も特徴的なのは、第3の観点の視点⑥でした。具体的には、全学年に「マイ・プラス」のページを設け、考えを深める工夫をしています。また、1年生34ページでは、「自分の言葉で表現しよう」などと、自分事として捉える工夫がなされています。

以上で、特別の教科 道徳の教科用図書の調査報告を終わります。

【高本副会長】

それでは、今の調査報告を受けて、調査員に質問はございませんか。

【杉原委員】

日本文教出版のみ道徳ノートが付いています。他の教科書会社については、例えば二次元コードで道徳ノートの代替が設定されている等の工夫がありますか。

【調査員】

ワークシートはあります。調査委員会の中で話題になったのは、他の教科書会社はワークシートに発問が全て刷られています。発問を見て先に進めていく子供たちがいると思います。日本文教出版はノートなので授業者のペース、子供たちの実態に合わせて、発問を変えたりその都度、考えさせたりすることができます。

【榎本委員】

中学生になると子供たちが携帯電話を持ち始めると思います。情報モラルについて、中でも特に SNS に匿名での書き込み等に対する啓発に特徴的なものがあれば教えてください。

【調査員】

各教科書の目次をご覧くださいればわかりやすいと思います。

例えばあかつき図書の目次に「情報モラル」のコーナーがあります。学研の目次にもキャリア、多様性、SDGs の中に情報モラルがあり、1 年生では「うわさで決めるの?」、「ネット将棋」、「日曜日の朝に」等の題材で情報モラルを扱っています。どの教科書会社も目次を見ていただいたら情報モラルについての扱いがわかると思います。

【高本副会長】

いじめの教材について、学校の実態等があると思いますが、扱いやすい教科書があれば教えてください。

【調査員】

いじめに関わっては、視点⑧に記載しています。どの教科書会社もいじめについては深く取り上げています。教材を 3 あるいは 4 つ配置し、ユニット化しているものもあります。各教科書会社とも、それぞれ工夫されていたと思います。

【住田委員】

第 5 の観点の⑨のデジタルコンテンツについてです。特に道徳でデジタルコンテンツをどのように扱いますか。また、一番特徴的な教科書会社があれば教えてください。

【調査員】

どの教科書会社も工夫されています。デジタルコンテンツの中には、朗読を個別に聞けたり、被災地の景色を VR で見たりすることができるものがあります。また、心情やそれぞれが思っていることを入力すると可視化できるようなものもあります。これらは、東京書籍のデジタルコンテンツとして用意されており、工夫されていたと思います。

しかしながら、東京書籍のみならず、どの教科書会社も工夫されていると思いました。

【高本副会長】

では、調査員の方、ありがとうございました。

これより、協議を行います。調査員からの報告書をもとに、その通りという意見でもいいですし、その他の点についてでも構いませんので、意見を出してください。

【杉原委員】

先ほど調査員の説明にもありましたが、他の教科書会社のワークシートにはあらかじめ項目が書かれてある一方、日本文教出版社の場合は、これが書かれていません。

道徳の授業において、最も主発問が重要だと思いますが、あらかじめそれが書かれている

と誘導されてしまう恐れがあります。また、できるだけそのあたりが自由な考えで子供たち同士が考えを深められるような教材、示し方が道徳としてはよいと思っています。

確かに、この日本文教出版の道徳ノートは授業を進めていく上では扱いやすいと思います。どの教材についても同じ様式になっているので、子供たちも慣れて使いやすいと思いました。

【渡部委員】

いじめについてでは、日本文教出版に法令、法規が掲載されていることが特徴的だと感じました。いじめ防止推進法、名誉毀損法、侮辱罪等、法律との関係性をしっかり提示してるのは日本文教出版社で、例えば3年生の42ページです。

一方、光村図書もよいと思っています。それは、自己との関わり方等と向き合うような問いが多く掲載されているからです。例えば、3年生の160ページに、学びの本質についての問いが多く書いてあります。道徳を始めるに当たって、8ページの「道徳で学ぶ22のキーワード」、次の「道徳道案内」等が掲載されています。他の教科書は表題が並んでいるだけなのに対して光村図書は特徴的だと思いました。加えて15ページの「自分に問う」、「友達と問いつつ」、「生き方を問う」という題材があり、自分との向き合い方が示され、これも光村図書の特徴だと思いました。

以上のことから、日本文教出版と光村図書がよいと思いました。

また、若い先生たちの中には、道徳を教えることに対して難しさを感じている方もいると思います。道徳の授業で人の深層心理、心の奥底を揺さぶって自分を考え直す等の問い方を身に付けていない先生たちもいるかもしれません。光村図書の教科書であればよい問い方が書いてあります。

【高本副会長】

それでは、調査報告や協議を元にして、評価表にご記入ください。

【高本副会長】

続いて、外国語の調査研究報告に移ります。それでは、調査員の調査研究報告をお願いします。なお、ポイントを絞って10分以内で報告をお願いします。

【調査員】

ただいまより、外国語の教科用図書の調査報告をさせていただきます。よろしくお願いいたします。

まずは、東京書籍の特徴について、各観点で特徴的な視点の番号をお伝えします。

第1の観点は、視点②

第2の観点は、視点④

第3の観点は、視点⑥

第4の観点は、視点⑧

第5の観点は、視点⑨が特徴的でした。

さらに、東京書籍の教科書で最も特徴的なのは、第4の観点の視点でした。具体的には、小学校外国語科との接続を図った内容がUnit 0～4、Stage Activity1、Sounds and Letters 0～4、夏休みの特集といった構成で配列され、音と文字の学習に関連した内容も記載してあるというところでした。

続いて、開隆堂の特徴について、各観点で特徴的な視点の番号をお伝えします。

第1の観点は、視点①

第2の観点は、視点③

第3の観点は、視点⑤

第4の観点は、視点⑦

第5の観点は、視点⑨が特徴的でした。

さらに、開隆堂の教科書で最も特徴的なのは、第3の観点の視点でした。具体的には、新出表現・文法がマンガ形式で”Scenes”として掲示されており、新出表現がどのような目的・場面・状況で使われるのか視覚的に理解できるよう工夫されています。また、「パジャマデー」などの外国の学生の生活文化に触れる内容を扱った単元や、「ばばばあちゃんの物語」など生徒が幼少期に読んだであろう絵本を題材にした単元により、単元に対する興味・関心を高めてるところでした。

続いて、三省堂の特徴について、各観点で特徴的な視点の番号をお伝えします。

第1の観点は視点②

第2の観点は視点④

第3の観点は視点⑥

第4の観点は視点⑦

第5の観点は視点⑨が特徴的でした。

さらに、三省堂の教科書で最も特徴的なのは、第4の観点の視点でした。具体的には、各単元は3つのPartに分かれ、それぞれのPartがScen 1と2で構成され、Listeingによって本文内容の場面や状況を把握し、それからReadingやWritingが設定され、単元の最後にGoal Activityとして発表ややり取り、書く活動が設定されているというところでした。

続いて、教育出版の特徴について、各観点で特徴的な視点の番号をお伝えします。

第1の観点は視点①

第2の観点は視点③

第3の観点は視点⑥

第4の観点は視点⑦

第5の観点は視点⑩が特徴的でした。

さらに、教育出版の教科書で最も特徴的なのは、第3の観点の視点でした。具体的には、各単元の最後にLessonを振り返ろう、TaskとGrammer、Activity Plus 1、Tips for speakingを設定し、それまでの学習内容を振り返ることができるようにしてあるというところでした。

続いて、光村図書の特徴について、各観点で特徴的な視点の番号をお伝えします。

第1の観点は視点②

第2の観点は視点④

第3の観点は視点⑤

第4の観点は視点⑦

第5の観点は視点⑨が特徴的でした。

さらに、光村図書の教科書で最も特徴的なのは、第5の観点の視点でした。具体的には、巻末資料として”Let’s Talk”としてSpeakingのやり取りのtopicsがまとめられていた

り、「英語の学び方ガイド」として学び方が示してあったり、「英語のしくみ」として中学校で習う「時制」のまとめや「補語・目的語」のまとめが記載してあるというところでした。

続いて、啓林館の特徴について、各観点で特徴的な視点の番号をお伝えします。

第1の観点は視点①

第2の観点は視点③

第3の観点は視点⑥

第4の観点は視点⑦

第5の観点は視点⑨が特徴的でした。

さらに、啓林館の教科書で最も特徴的なのは、第2の観点の視点でした。具体的には、単元の各パートに Express Yourself があり、その Part で学習した文法事項を用いて、自分のことを表現したり相手に質問したりするやり取りの活動が行えるようになっているというところでした。

以上で外国語の教科用図書の調査報告を終わります。

【高本副会長】

それでは、今の調査報告を受けて、調査員に質問はございませんか。

【渡部会長】

外国語科における言語活動では、言語意識、目的、状況、場面があることが大事なことだと思っています。これらが明確にないと具体的な言語活動が難しいと思います。個人的にこれらがわかりやすかったのが光村図書と東京書籍です。

東京書籍は目的、場面状況の文言が書いてあり、設定がしてあります。他社の対応するところでどの部分を比較したらよいでしょうか。

【調査員】

東京書籍は目的、場面、状況が各ユニットの単元の最初に大きく出ているので、とても目に付きやすいと思います。言われたように光村図書も字は小さいですが、単元の最初に状況が設定されています。ただ、場面、状況等はわかりますが、目的の字が少し小さいことが調査委員会でも話題になりました。例えば、光村図書の3年生「Unit 3」の29ページをご覧ください。この単元ではゴールが上に載っているのですが、子供たちが見たときに、東京書籍の方がどのようなことができるようになればよいのかが視覚的に捉えやすいです。これができるようになるためには、どのような場面で使えるのかという順になるので、順番で言えば、まず、ゴールがあって目的、場面、状況ではないかという話が調査員会で出ました。

また、開隆堂の1年生の、61ページ、「PROGRAM 5」をご覧ください。「パジャマデー」についてです。開隆堂のよい点として調査員会で話題になったのは、ゴールが上にあり、各単元の中のパートごとの目標が書かれているので、順を追って進めることができ、わかりやすいという点です。

そして、同じページの下に「こんな表現ができる！」として、題材を使うことができるよう、目的、場面、状況を示されています。次のページ開くと、表現例が2コマに渡って漫画形式で載せられているので、漫画等に親しみの深い子供たちは、興味・関心をもつでしょうし、理解しやすいとの話題が出ました。

【渡部会長】

教育出版等、他の教科書会社はいかがでしょうか。

【調査員】

三省堂の1年生、55ページの「Lesson4」をご覧ください。最初にリスニングによって状況を掴んでいきますが、「Goal Activiy」が、右の斜め下にありますので目標がわかりづらかったです。

また、次のページの「Part1」では、「Scene1」、「Scene2」というようにスモールステップで進みます。具体的には、「Part1」の「Scene1」のリスニングで場面を掴み、そこで出た会話を「Scene2」の代表的な例文として確認し、「Part2」の「Scene1」、「Scene2」へとスモールステップで進むようにはなっていますが、この単元の最初のページを見ると少しわかりにくいのではないかという話が調査員会で出ました。

【渡部会長】

Listening、Reading、Writing、Speakingの4つの言語活動について、これらは1つのUnitやLessonの中で、構造的に設定されていると思います。つまり、単元ごとに読みだけ等ではなく、複合的に扱っていると思いますが、上手く構成されてるのはどこの会社も同じでしょうか。

【調査員】

複合的にスモールステップが確立されているのは東京書籍と開隆堂です。どの教科書もListeningから始まり、5段階で構成されています。そのステップについて早く進んでいくのではなく、ゆっくりステップを踏みながら進んでいくのが東京書籍と開隆堂であるとの話が調査員会で出ました。

開隆堂で言えば、Listeningから始まり、少しずつ増えていきます。それをページ横のキャラクターが少しずつ上っていくことで示してありますので、ここまで学習したというゴールが見やすいということが調査員会で話題になりました。

あとはどの教科書会社も、大体1学期分で「Unit1」から「Unit3」ぐらいまで学習すると1つのプロジェクトのような単元があり、統合的な活動ができるように設定されていました。

【吉岡委員】

率直に題材を見比べてみて、子供たちの興味・関心を引きそうな題材、内容が多いのは、どこの教科書会社でしたか。

【調査員】

題材については、先ほどの開隆堂の「パジャマデー」、「ばばあちゃんの物語」等は、子供たちが懐かしくなって興味を引きやすいだろうと話題になりました。

逆に少し難しいのではないかという話になったのは啓林館です。話題が堅いという意見が調査員会で出ました。

【高本副会長】

府中市は小中一貫教育を進めているところですが、小学校外国科との繋がりというのを考えたときに、どの教科書が使いやすいですか。

【調査員】

東京書籍です。今、小学校5年生で光村図書を使い始めていますが、中学校の光村図書を

見たにたときに連携が感じられるかと言ったらそうでもありません。

どの教科書会社も、必ず小学校のことは載せてありますが、量的な部分において小学校の中身は1年生の「Unit 3」までが小学校の内容となっています。光村図書は少なく、会話が
多いイメージです。小学校で学んだ単語の表記が巻末の単語リストのところに掲載されていますがどこの教科書会社も掲載されている印象です。

【渡部会長】

英語はデジタル教科書が一番早く導入されていて、今年も全部デジタル教科書です。

子供たちにとってデジタルを見るという視点ではどの教科書がよいのでしょうか。また違いはありますか。

【調査員】

デジタル教科書はどの教科書会社も充実していると思いますが、現在使用している東京書籍はとても使いやすいです。逆に小学校ですが光村図書のデジタル教科書は少し使いづらい印象があります。光村図書はボタンを一つずつ押していかないと表示されないのに対して、東京書籍はすぐに表示されます。しかし、全てのデジタル教科書を確認しているわけではありません。資料では、どこの教科書会社も充実させているということをアピールされています。

【杉原委員】

実際にデジタル教科書の部分でも比較、検討をされたのでしょうか。

【調査員】

資料に二次元コードが掲載されていたので、少し確認しましたが、全てが見られるわけではなく、特徴的な部分が紹介されている動画のみでした。調査員会でも現在使っているものの個人的な感想しか述べることができなかったため、来年度のデジタル教科書の比較を完全にはできませんでした。

【高本副会長】

地理の調査研究報告に移ります。それでは、調査員の調査研究報告をお願いします。なお、ポイントを絞って10分以内で報告をお願いします。

【調査員】

ただいまより、社会科の教科用図書の調査報告をさせていただきます。よろしくお願いいたします。

まず、地理的分野について報告します。

東京書籍の特徴について、各観点で特徴的な視点の番号をお伝えします。

第1の観点は、視点①

第2の観点は、視点⑤

第3の観点は、視点⑥

第4の観点は、視点⑧

第5の観点は、視点⑩が特徴的でした。

さらに、東京書籍の教科書で最も特徴的なのは、第3の観点の視点でした。諸地域の特色を押さえた上で、対話形式になっているキャラクターの吹き出しによって、探究課題へと思考の流れを導く工夫がされていました。また、地形図の色使いが鮮やかで見やすい工夫がさ

れていました。

続いて、教育出版の特徴について、報告します。

第1の観点は、視点①

第2の観点は、視点④

第3の観点は、視点⑦

第4の観点は、視点⑧

第5の観点は、視点⑩が特徴的でした。

さらに、教育出版の教科書で最も特徴的なのは、第3の観点の視点でした。「地域の在り方」において、日本の7地方区分における課題の例が掲載されていました。また、見方・考え方の視点が明記されており、探究学習の基本的な考え方が示されていました。

続いて、帝国書院の特徴について、報告します。

第1の観点は、視点①

第2の観点は、視点④

第3の観点は、視点⑥

第4の観点は、視点⑧

第5の観点は、視点⑩が特徴的でした。

さらに、帝国書院の教科書で最も特徴的なのは、第4の観点の視点でした。巻頭ページにおいて、考えを整理する方法としてカテゴリー別思考ツールを4点挙げ、その活用方法が説明されていました。また、巻末ページに用語解説のページはありませんが、デジタルコンテンツ上に用意されていました。

続いて、日本文教出版の特徴について、報告します。

第1の観点は、視点①

第2の観点は、視点④

第3の観点は、視点⑥

第4の観点は、視点⑨

第5の観点は、視点⑩が特徴的でした。

さらに、日本文教出版の教科書で最も特徴的なのは、第4の観点の視点でした。災害に関する写真資料が大きく取り上げられ、見やすいような工夫がされていました。また、多様な地域の防災活動を写真資料として掲載していました。さらに、デジタルコンテンツも充実しており、自分の住む地域の防災情報が容易に検索できるような工夫がされていました。

次に地図について報告します。

まず、東京書籍の特徴について、各観点で特徴的な視点の番号をお伝えします。

第1の観点は、視点①

第2の観点は、視点④

第3の観点は、視点⑤

第4の観点は、視点⑥

第5の観点は、視点⑦が特徴的でした。

さらに、東京書籍の地図帳で最も特徴的なのは、第2の観点の視点でした。「この地図帳でいっしょに“世界旅行”をする」キャラクターとして「ミツバチーズ」を設定し、資料活

用コーナーを設けていました。

続いて、帝国書院の特徴について、報告します。

第1の観点は、視点②

第2の観点は、視点④

第3の観点は、視点⑤

第4の観点は、視点⑥

第5の観点は、視点⑦が特徴的でした。

さらに、帝国書院の地図帳で最も特徴的なのは、第1の観点の視点でした。日本の各地方ページに地形と歴史・文化などとの関わりを示した資料が16か所に示してありました。

【高本副会長】

それでは、今の調査報告を受けて、調査員に質問はございませんか。

【吉岡委員】

日本文教出版についてです。第5の観点で、特に防災関係の情報、資料があるとのことですが、具体的にページ数を教えていただきたいです。また、他の教科書会社が防災関係についてどのように取り扱ってるのかも合わせて教えてください。

【調査員】

防災関係の記述は、50ページの「自然災害から見た日本の地域的特色と地域区分」、152ページの「災害に備えるために」、154ページの「迫りくる巨大地震」、計6ページに渡って設けられています。

それぞれのページに二次元コードが掲載されており、読み取ってアクセスすると、全国の自治体や都道府県を選択できるようになっています。そこから広島県や府中市を選択すると府中市が発表しているハザードマップ、防災マップのリンクが出てきます。自分の住んでいる地域の洪水の被害、土砂災害の危険性がわかるデータについて、比較的アクセスしやすい工夫がされています。

他の教科書会社についても同様に、災害に備えての提示というのは「日本の地域的特色と地域区分」という単元に取り扱いがあります。しかし、自分が住んでいる自治体の防災情報についてのアクセスするという面で考えると日本文教出版の教科書が一番わかりやすく、二次元コード等も含めて記載されてると思います。

【高本副会長】

帝国書院の第4の観点⑧のところについてです。巻末に用語のページがありませんがデジタルコンテンツでは用意されています。子供たちにとって巻末に用語解説がある方がよいのか、デジタルコンテンツでの掲載がよいのか、どちらだと思われますか。

【調査員】

授業の中での使いやすさでいうと、教科書や資料等を確認しながら授業を進めていくことが多いので、巻末にこの用語集がある方が勝ると思います。

ただ、家庭学習、自主学習を行うといった授業以外の面で考えると、一人一台端末を持っていますので、巻末に用語集がなくても子供たちが特段使いにくいと思うことは少ないかもしれません。

しかし、授業に限定して考えるならば、巻末に用語集があった方が授業中に先生が言った

ことを調べ直してメモを取る、自分でわからない語句を調べ直すという点で使いやすいと思います。

【高本副会長】

地理の教科書と地図帳の内容を上手く繋げているような工夫がされている教科書会社はありますか。

【調査員】

東京書籍の地図帳に関しては、「ミツバチーズ」というキャラクターがいます。これがわずかではありますが、地理の教科書に載っています。しかし、中身についてであったり子供たちに思考させたり、調べさせたりする内容のところではそこまで大きな繋がりはないかと思ってます。

一方、帝国書院の地図帳に関しては、歴史的なところに注目をした資料というものが登場してきます。地理の分野はもちろん、地形図での繋がりもありますが、歴史分野との関わり、地歴を横断したようなところで、地図を見ることができるという点では、地理ではなく歴史とも繋がって考えることができるのは、この帝国書院の地図帳だと思います。

【高本副会長】

次に、歴史の調査研究報告に移ります。それでは、調査員の調査研究報告をお願いします。なお、ポイントを絞って10分以内で報告をお願いします。

【調査員】

次に、歴史的分野について報告します。

東京書籍の特徴について、各観点で特徴的な視点の番号をお伝えします。

第1の観点は、視点①

第2の観点は、視点④

第3の観点は、視点⑥

第4の観点は、視点⑧

第5の観点は、視点⑩が特徴的でした。

さらに、東京書籍の教科書で最も特徴的なのは、第2の観点の視点でした。歴史的な見方・考え方の解説を掲載し、資料の読み取りやワークシート、活動ツールを使って習得した「歴史的な見方・考え方」を活用する問いが設定してありました。

続いて、教育出版の特徴について報告します。

第1の観点は、視点①

第2の観点は、視点⑤

第3の観点は、視点⑦

第4の観点は、視点⑧

第5の観点は、視点⑪が特徴的でした。

さらに、教育出版の教科書で最も特徴的なのは、第1の観点の視点でした。見開きごとにタイトルと副題を示し、「どのような」「どのように」といった表現で学習課題を示していました。また、見開き右ページに「表現！」のコーナーを設け、学習課題に対応した問いを設定していました。

続いて、帝国書院の特徴について報告します。

第1の観点は、視点③

第2の観点は、視点④

第3の観点は、視点⑥

第4の観点は、視点⑧

第5の観点は、視点⑩が特徴的でした。

さらに、帝国書院の教科書で最も特徴的なのは、第1の観点の視点でした。歴史に見られる国際関係や日本に影響を与えた文化交流について、時代区分と記載数は、それぞれ古代2つ、中世2つ、近世4つ、近代7つであり、国際関係が複雑化する近代を重点的に取り上げ、地図や写真、図を用いて多角的に歴史的事象を捉えることができるような工夫がありました。

続いて、山川出版の特徴について報告します。

第1の観点は、視点①

第2の観点は、視点⑤

第3の観点は、視点⑥

第4の観点は、視点⑧

第5の観点は、視点⑩が特徴的でした。

さらに、山川出版の教科書で最も特徴的なのは、第2の観点の視点でした。章のまとめとして、様々な視点にたって時代の特色や社会の変化などについて自分の考えを文章にまとめ、章の問いに答える場面を設定していました。

続いて、日本文教出版の特徴について報告します。

第1の観点は、視点①

第2の観点は、視点④

第3の観点は、視点⑦

第4の観点は、視点⑧

第5の観点は、視点⑩が特徴的でした。

さらに、日本文教出版の教科書で最も特徴的なのは、第1の観点の視点でした。見開きごとにタイトルと副題を示し、「どのような」といった表現で学習課題を示していました。また、学習課題から「見方・考え方」へつなげる表示があり、見開き右ページに「確認」「表現」を設定し、学習課題に対応した問いを設定していました。

続いて、自由社の特徴について報告します。

第1の観点は、視点②

第2の観点は、視点④

第3の観点は、視点⑦

第4の観点は、視点⑧

第5の観点は、視点⑩が特徴的でした。

さらに、自由社の教科書で最も特徴的なのは、第1の観点の視点でした。文化遺産、神話・伝承の取り扱いについて、写真資料に「国宝」「重要文化財」「世界遺産」のマーク表示がありました。また、巻頭に「日本の世界文化遺産」を地図等とともに示しており、他社では取り扱いがない「神話による神々の系図」を2ページにわたって記載し、神話や伝承に関する内容の記載が多くありました。

続いて、育鵬社の特徴について報告します。

第1の観点は、視点①

第2の観点は、視点⑤

第3の観点は、視点⑥

第4の観点は、視点⑧

第5の観点は、視点⑩が特徴的でした。

さらに、育鵬社の教科書で最も特徴的だったのは、第2の観点の視点でした。章の問いに対して振り返りを行い、話し合いを通して理由をまとめ、自分の考えを理由と合わせて説明する場面を設定していました。

続いて、令和書籍の特徴について報告します。

第1の観点は、視点②

第2の観点は、視点④

第3の観点は、視点⑥

第4の観点は、視点⑧

第5の観点は、視点⑩が特徴的でした。

さらに、令和書籍の教科書で最も特徴的だったのは、第1の観点の視点でした。文化遺産、神話・伝承の取り扱いについて、写真資料に「国宝」「世界遺産」「重要文化財」のマークがありました。資料サイズは他社と比較して大きく、神話や伝承についての記載が多く、ページで長文にわたって記載されていました。

【高本副会長】

それでは、今の調査報告を受けて、調査員に質問はございませんか。

【杉原委員】

歴史的分野において、社会科学的な思考を深めていくという観点から見たときに特徴的な教科書会社があれば教えてください。

【調査員】

特徴的なところで言うと、例えば東京書籍であれば第2の観点の視点となりますが、まとめの活動の設定、思考を働かせる場面での思考ツールの提示、歴史的な見方・考え方を働かせてその課題を解決するような問いが設定してあるものがあります。

その他には帝国書院も少し似たようなところがあると思います。子供たちが授業の中で、教科書の文章記述のみに基づいて歴史を理解しようとする暗記に陥ってしまいがちですが、見方・考え方を働かせたり、思考ツールを用いて考えたりする活動が設定されていることにより、暗記ではなく子供たちが思考する中で目標にたどり着くことができます。効果的な構成だと思います。

【杉原委員】

社会科学的な認識を深めていくという点で言えば、2社がよいということですか。

【調査員】

はい。

【榎本委員】

歴史は日本史と世界史を合わせて学びますが、時代や時系列バラバラになって世界にお

ける日本の位置付けがわからなくなることがあります。わかりやすく体系的に示されているところがあれば教えてください。

【調査員】

世界史と日本史について、教科書に登場してくる順番についてはほとんど差がないと思います。ただ、その差がない中で、令和書籍、自由社、山川出版は比較的文章記述が多くなっています。知識、つまり扱うことの量や中身については深まりがあると思いますが、反面、情報量が多く、文書での記述というものが多くなれば、わかりやすさという点、世界と日本との歴史の繋がりという点で見ればやや劣ると思います。

その他の教科書会社については、差はないと思います。ただ、使っている資料、課題の設定の仕方については、若干異なる部分がありますが、日本と世界の歴史を繋ぐ意味では、あまり大きな誤差にはならないと思います。

【住田委員】

第2の観点の⑤のところですか。どの教科書会社でも、恐らくまとめの仕方が書かれていると思います。子供たちが自分でまとめていくポイント、あるいは教師の方から示したいポイントが比較的明確に出てるのはどの教科書会社だったのでしょうか。

【調査員】

東京書籍と帝国書院については、授業の中で単元のまとめとして取り扱うことになるので、各教科書に書いてあるものをそのまま取り上げるとすれば、この2社だと感じました。理由としては、まとめの中でワークシート、思考ツールの活用の仕方が比較的わかりやすく示されているというところと、見方・考え方が合わせて記載されているからです。

この2社以外で挙げるとするならば、日本文教出版です。まとめのページではありませんが、課題やまとめについても見方・考え方でつなげる記載があり、ワークシートについても思考ツールで見方・考え方と課題が繋がっています。

以上の点で考えますと、東京書籍や帝国書院、もしくは日本文教出版のあたりが使いやすさ、教師としてのわかりやすさという点でよいと思いました。

【奥村委員】

先ほど、東京書籍で見方・考え方がわかりやすいと言われましたが、それが具体的に示されているページで教えていただけますか。

【調査員】

東京書籍でいうと14ページになります。「時代の特色のとらえ方」というところで、テーマの記載があり、その下に歴史的な見方・考え方として「比較」、「相互の関連」、「現在とのつながり」とあります。ここに至るページまでに、歴史の流れの捉え方、時期や年代の表し方の記載もあります。これらは過去の教科書では、記載がありませんでした。ただ年代を示しているだけであったり、小学校の時の振り返りのページとして扱われていたりするだけでしたが、この見方・考え方を合わせて組み込むことで、子供たちが今まで学習してきたことやわかりやすさが効果的に示されていると感じました。これらを活用しながら、ここから先のまとめの活動等もしていくことで、よりわかりやすくなると思います。

【高本副会長】

最後に、公民の調査研究報告に移ります。それでは、調査員の調査研究報告をお願いします。

す。なお、ポイントを絞って 10 分以内で報告をお願いします。

最後に、公民的分野について説明します。

まず、東京書籍の特徴について、各観点で特徴的な視点の番号をお伝えします。

第 1 の観点は、視点①

第 2 の観点は、視点⑤

第 3 の観点は、視点⑦

第 4 の観点は、視点⑨

第 5 の観点は、視点⑩が特徴的でした。

さらに、東京書籍の教科書で最も特徴的だったのは、第 2 の観点の視点でした。単元末において、学習課題、学習活動を設定しており、思考ツールや資料をもとにまとめさせるように示してありました。

続いて、教育出版の特徴について報告します。

第 1 の観点は、視点①

第 2 の観点は、視点④

第 3 の観点は、視点⑥

第 4 の観点は、視点⑨

第 5 の観点は、視点⑩が特徴的でした。

さらに、教育出版の教科書で最も特徴的だったのは、第 3 の観点の視点でした。各節のテーマと問いを示しており、また章全体の問いを示すことで、これから学習する章全体の内容や学習のねらい、学習する際の視点を捉えさせています。また、二次元コード「語句クイズ」が設けられており、いつでも復習できるようになっています。

続いて、帝国書院の特徴について報告します。

第 1 の観点は、視点②

第 2 の観点は、視点⑤

第 3 の観点は、視点⑥

第 4 の観点は、視点⑨

第 5 の観点は、視点⑩が特徴的でした。

さらに、帝国書院の教科書で最も特徴的だったのは、第 2 の観点の視点でした。単元末において、学習課題、学習活動を設定しており、思考ツールや図を用いて知識を整理、問いを考える、問いをまとめるように示していました。

続いて、日本文教出版の特徴について報告します。

第 1 の観点は、視点①

第 2 の観点は、視点④

第 3 の観点は、視点⑥

第 4 の観点は、視点⑨

第 5 の観点は、視点⑩が特徴的でした。

さらに、日本文教出版の教科書で最も特徴的だったのは、第 3 の観点の視点でした。漫画についてイラストに吹き出しを加えながら問いを示し、興味・関心を高める資料や説明文を掲載していました。また、各編の導入部分で、学習内容についての課題を設定し、見通しを

示していました。

続いて、自由社の特徴について報告します。

第1の観点は、視点②

第2の観点は、視点④

第3の観点は、視点⑥

第4の観点は、視点⑨

第5の観点は、視点⑩が特徴的でした。

さらに、自由社の教科書で最も特徴的だったのは、第1の観点の視点でした。「対立と合意」「効率と公正」の扱いについて、身近な学校での問題や地域の問題を取り上げ、対立から合意について「ここがポイント！」で説明していました。

続いて、育鵬社の特徴について報告します。

第1の観点は、視点①

第2の観点は、視点④

第3の観点は、視点⑥

第4の観点は、視点⑨

第5の観点は、視点⑩が特徴的でした。

さらに、育鵬社の教科書で最も特徴的だったのは、第2の観点の視点でした。「よりよい社会」を築いていくための国づくり構想のレポート作成し、持続可能な社会を実現するための探究の方法を掲載していました。

以上で、社会科の教科用図書の調査報告を終わります。

【高本副会長】

それでは、今の調査報告を受けて、調査員に質問はございませんか。

【北川委員】

税制度等、公民の教科書の内容が変わる場合がありますが、その場合、子供たちにどのように教えますか。また、どれも法令集が付属していますが、教材として使うのでしょうか。

【調査員】

まず法令等変化がある場合は、選定された教科書会社から、毎年、変更点が記載された通知が学校に来ます。通知された変更点を扱う際は、子供たちにも伝えてます。変更点はニュースの中で取り上げられるような世間的にも注目度が高いものも多いため、時事問題と絡めながら授業で紹介します。

法令集については、特に憲法、人権を扱うときに憲法の条文や憲法に記載されてる人権や人権に繋がる法律について、授業の中で示すことがあります。

ただ、これを暗記させたり、ノートに全て書き取らせたりという活動はあまり行いません。紹介の中で使用することは大いにあると思っています。

【高本副会長】

第5の観点についてです。どの会社も思考ツールについて書かれていますが、思考ツールについてはほとんど差がないのでしょうか。それとも使い勝手がよいものがありますか。

【調査員】

そこまで大きな差はないと感じました。ただ思考ツール自体に大きな差はありませんが、

課題の設定の仕方、思考ツールを使ってどんな課題に取り組ませるかという点では違いがあります。

帝国書院の70ページをご覧ください。思考ツールも含めた図というくくりで示してあります。70ページと71ページにここまで学習したことを図にまとめながら整理した上で、71ページでこの単元に入る前に示してある課題と知識を結び付け、さらに最後のまとめの部分でクラゲチャート等を使用し、アイデアをさらに練り上げていくという構成になっています。思考ツールは、どの教科書会社も示していますが、課題設定の工夫、取り組ませる課題という点では違いがあると思いました。

その中でも帝国書院は自然な流れで効果的に示してあり、他の教科書会社より少し使いやすいと思いました。

【杉原委員】

経済等のデータが引用されていると思いますが、特徴的な教科書がありますか。

【調査員】

あまり差はないように感じます。写真資料、課題として取り上げる場面には違いがありますが、データの側面と言うと特徴的な教科書、あるいは余りにも使いづらい教科書はなかったと思います。

【杉原委員】

例えば、一般会計予算について各教科書会社のグラフの種類が違うことは問題にならないのでしょうか。

【調査員】

はい。ありません。授業の中で、教科書の資料を用いて授業を行うこともありますが、こちらが意図して別のものを準備して使用するということも多くあります。教科書会社の資料を基に考えることもあれば考えないときもあります。授業者としては、グラフの種類の違いで必ずしも使い勝手が悪いというところまでは感じないと思います。

【住田委員】

他の教科に比べて公民はデジタルコンテンツ少ないです。あまり使わないのでしょうか。

【調査員】

公民は数字やグラフのような資料を扱うことが多です。また、資料としては憲法や法律も多いので、授業の中でデジタルコンテンツを活用する機会は他の分野に比べれば多くありません。

【住田委員】

無くても支障はありませんか。

【調査員】

はい。支障は無いと思います。

【高本副会長】

では、調査員の方、ありがとうございました。

ここで休憩をとります。17時10分に再開します。

【高本副会長】

それでは、これより、選定協議が途中の教科書について、協議を再開します。

まずは地図、地理的分野についてです。

調査員からの報告書をもとに、その通りという意見でもいいですし、その他の点についても構いませんので、意見を出してください。

【高本副会長】

近畿地方のページを見ましたがほとんど一緒でした。ただ個人的には帝国書院の方が山の高さがはっきりとしていて見やすいです。また、調査員の報告にもありましたが、歴史と関連付けられるので帝国書院の方が幅広く活用できるのではと思いました。

【榎本委員】

中国地方を表しているページで比較しました。東京書籍は79、80ページ、帝国書院では99、100ページをご覧ください。まず子供たちは自分たちの地元、府中市を見ると思います。府中市について、帝国書院は家具、東京書籍は家具と自動車部品鋳造と記載されています。府中市のことに少しでも興味をもってもらいたいと思うなら東京書籍だと思います。

【杉原委員】

東京書籍の方は土地利用の中で農業や森林等が含まれて書かれていますが、図が小さく、帝国書院の方が読みやすいです。

また、工業等の特色に関わって、中四国で言うと水島コンビナートの資料が載っている等、帝国書院の方が幅広く資料を載せてある印象です。

【高本副会長】

地理的分野についてはいかがでしょうか。

【住田委員】

地理の導入の工夫について、視点⑥のところを各教科書会社を見ていました。単元に見通しをもつという点では、東京書籍、日本文教出版、教育出版がよいと感じました。

その中でも東京書籍は、皆で協議し、意見を出し合いながら最終的に探究課題を考えていくといった流れになっている章の方が多く、子供たちが見通しをもつ上で、興味をもったり自分で調べたところの話をしていくという面で言うと、東京書籍や日本文教出版がよいと思いました。

【杉原委員】

日本の気候、日本文教出版の場合は、全国の6ヶ所の気温、1年間の気温と降水量のグラフが載っている部分についてです。これはどの教科書会社も載っていますが、大体左側から沖縄が始まって、右側が北海道になっています。我々の感覚としても日本列島をイメージするので自然かと思いますが、日本文教出版だけが逆になっており、感覚的にどうかと思いました。

また、東京書籍の場合は、桜の開花予想の記載があります。同じところに2月の日本列島各地の比較の写真が載っていますが、東京書籍は4か所で他の教科書会社大体2か所です。2か所のものは、雪が降ってる様子と沖縄の温暖な様子が極端な例として載せられています。一方東京書籍は、中間地として雪がしとしとと降っているものと少し温暖な気候のものも載せられています。以上のことから内容的に東京書籍が資料が豊富だという印象を持ちました。

他の教科書会社は、写真が大きくて見やすいという意味で見ればよいとは思いますが。

【高本副会長】

広島県の選定資料の 54 ページのところに、各教科書会社の写真、絵、図、地図、グラフ、2 次元コードの個数が書いてあります。東京書籍はまんべんなく、ふんだんに使われています。地理を考えたときに、写真、グラフ等は地域の特徴を知るためのベースとして必要だと思いますし、その点ではよいと思いました。

【高本副会長】

それでは、調査報告や協議を元にして、評価表にご記入ください。

【高本副会長】

次は歴史についてです。

調査員からの報告書をもとに、その通りという意見でもいいですし、その他の点についてでも構いませんので、意見を出してください。

【北川委員】

個人的におもしろいのは令和書籍です。しかし歴史が好きな子供は興味をもつと思いますが広く学ぶには内容が細かすぎるし濃い印象があります。中学生には少し難しいのではないかと思います。

以上を踏まえて、自身が中学生だったらよいと思ったのが帝国書院です。帝国書院はタイムトラベルというコーナーを設けてあり、その時の時代の街の風景をイメージさせ、雰囲気をつかんでいけます。その時代のイメージ膨らませながら内容を学ぶことがおもしろいと思いました。

加えて教科書の副題が「日本の歩み」と「世界の動き」となっており、世界との関連性を重視した内容になっていると感じました。また、各社の教科書の歴史年表を見たときに帝国書院は見やすいです。日本と海外の交流という欄もあり、丁寧でわかりやすく、そして、興味をもちやすいです。以上のことから帝国書院はよい作りをしてるとの感想をもちました。

【杉原委員】

社会科学の面から見るとというのは様々な歴史の繋がり、出来事を科学的にどう捉えられているのかということですが、神話、伝承等の扱いを見たときに東京書籍や帝国書院は信仰の対象について客観的な扱いをしてあります。中には日本の国の成り立ちに合わせて記述をされているところもありますが、果たしてどちらが社会科学的な見方に繋がるのかで判断することが必要だと思います。

先ほどありました令和書籍は、確かに読み物としてはおもしろいものですが、社会科学的な見方から見るとどうなのかなという感想をもちました。

【槇本委員】

日本文教出版の巻末の歴史年表は、日本と世界の関わりもわかりやすいと思います。また、右端にそれぞれ歴史の年表が全部書いてある会社は何社かあり、歴史の流れを掴むには非常にわかりやすいと思いました。

気になったのは教育出版です。166 ページをご覧ください。日本文教出版では 176 ページになりますが、題目が「明治維新」、178 ページでは「殖産興業と富国強兵」となっていますが、教育出版では「万機公論に決すべし」、次のページでは「学問は身を立てるの財本」という表現になっており、インパクトはありますが若干取り付きにくそうところが気にな

りました。

【奥村委員】

「見方・考え方を働かせる工夫」について、具体的な記述のされている東京書籍がよいと思います。教科書を見ていくと「みんなでチャレンジ」とあり暗記するのではなく、考えたくなるような問いが他の教科書より多いです。暗記教科ではなく、考える教科として見方・考え方を働かせるよいものだと思います。

【渡部会長】

思考、判断、表現の面で、「見方・考え方」は先生方も非常に注目をしています。その部分では日本文教出版と東京書籍は一目置きます。

あとは鎌倉幕府の成立について様々な説があります。各教科書会社を比較してみると3つの説があるということを書いてある教科書、触れてない教科書、2つの説しかない教科書がありました。史実に基づいて書いてあるか、不確かなところは不確かだとして書いてあるかということも大事ですし、それは先ほどありました科学的な根拠に基づいて書かれているかどうかということにも繋がっていると思います。

山川出版は鎌倉幕府の成立の諸説についてほとんど触れていません。教育出版は、3つ説があると触れており、帝国書院は2つの説しか記述がありません。自由社は諸説あることに触れていません。東京書籍、育鵬社それから日本文教出版は触れています。鎌倉幕府の成立時期の説をどのように記述しているかを比較してもいいと思います。

【高本副会長】

歴史は過去のことを学ぶわけですが、資料、写真の掲載量も大事だと思います。特に絵より写真の方がインパクトがあると思います。その視点で見ると東京書籍、日本文教出版、帝国書院が群を抜いて多いです。他の教科書は少なかったです。加えて2次元コードだけで見ると日本文教出版が65個、東京書籍が49個、帝国書院が20個であとの教科書会社は一桁となっており、量が教科書会社で全く違います。

写真等をどう使うかも大切ですが、写真や資料がある程度必要となったときには参考になると思います。

【高本副会長】

それでは、調査報告や協議を元にして、評価表にご記入ください。

【高本副会長】

次は公民についてです。

調査員からの報告書をもとに、その通りという意見でもいいですし、その他の点についてでも構いませんので、意見を出してください。

【榎本委員】

そもそも公民とは何かということについての記載を確認しました。冒頭1ページ、2ページを見たところ、各教科書に記載されていまして、各教科書会社のスタンス、考えが明確だと思いました。

単に知識を得るだけでなく、そこから学んで社会に対して自分がそこに役立つ、もしくは協力していく考えをもたせるところではこの部分が一番インパクトがあったと思います。

【渡部会長】

確かに、冒頭部分を見ると各教科書会社で違うことがわかりました。

【北川委員】

東京書籍と帝国書院は中学生に公民を学ぶことで様々なことに備えておかなければならないことを伝えているように感じました。例えば、東京書籍で言えば「18歳へのステップ」の題目で18歳になったときの選挙の流れ、18歳でできること、経済の方でしたら、契約するときの支払いの方法等をピックアップしており、現実に関自分の身に降りかかることを学ぶことができます。ピックアップしてるので非常に見やすく、大事なことを上手く伝えていると思います。

帝国書院も同じように、「18歳への準備」という項目を設け、ライフプランや契約についてのトラブルも多いので現実味のあることを学べると感じたので、東京書籍と帝国書院はわかりやすいと思いました。

【渡部会長】

ルールを決めることについて、公民の一番初めの方の章でどの教科書も扱っています。特に子供たちにとって身近な学校での内容を取り扱っているのが東京書籍と教育出版です。例えば合唱大会の練習の回数の問題や給食の問題、ジャンケンが公平なのか等です。

内容的には東京書籍と変わりませんが教育出版の方が身近な問題を扱っており、よりわかりやすいなと感じましたので教育出版がいいと思いました。

【吉岡委員】

先ほど意見もありましたが、私は帝国書院の「18歳への準備」等、未来への目の向けさせ方に注目しました。巻頭3、4ページの目次をご覧ください。その中で緑色で「アクティブ公民」と書かれているところは、現在の社会の課題を示し、考えていこうと明示されています。また、青色で「未来に向けて」とあります。18歳の準備のために考えていこうと目次の時点で明示されおり、ポイントが非常にわかりやすいため、帝国書院も非常によいと感じました。

【杉原委員】

基本的人権に関わる内容に関連して、子どもの権利条約について3社ぐらいが扱っています。ただ、東京書籍の場合は、基本的人権の流れの中で子どもの権利条約を取り扱っており、東京書籍以外の教科書については人権侵害の無い世界からの流れで取り扱っているため、自分とは距離を置いたような扱いになっています。東京書籍は基本的人権の流れから子どもの権利条約に繋がっているので身近に感じるのではないかと思います。

【高本副会長】

それでは、調査報告や協議を元にして、評価表にご記入ください。

【高本副会長】

次は理科についてです。

調査員からの報告書をもとに、その通りという意見でもいいですし、その他の点についてでも構いませんので、意見を出してください。

【住田委員】

どの教科書会社も単元の終わりに考えさせるような場面を設定していますが、東京書籍

だけが、章の初めにも考えさせる場面を設定しています。導入もスタート動画を活用できるようになっており、東京書籍に工夫を感じました。

【渡部会長】

3年生イオン化傾向についてですが、「e⁻」という表記と「⊖」という表記に差があります。高校では、「e⁻」という表記を使用しますので、東京書籍、啓林館、大日本図書がよいと思います。

【杉原委員】

2年生の電流のところを見てみました。静電気の扱いについて、東京書籍は最初に出てきます。他は、電流の性質について学んだ後に示されています。どちらがよいのでしょうか。静電気は目に見えないですし、電子の移動は見えにくいです。私としては、電流の性質について学んだ後に扱いたいところです。

【渡部会長】

私は、後の方がよいと思います。電流の流れは電子の流れです。電子から入ると、電流はプラスからマイナスに流れると学んできた生徒の思考が逆になり、混乱してしまいます。本来は、電子と電流の流れは同じはずですが、歴史を紐解くと、電流はプラスからマイナスに流れると言ってしまい、後で電子のことがわかりました。学習の流れとしては、まず電流の性質を学んだ後に電子のことを学んだ方が流れがよいと思います。東京書籍では混乱するかもしれません。

【榎本委員】

先ほど理科離れのことをお話させていただきましたが、東京書籍に「読み物」があり、「まちなか科学」「歴史にアクセス」など、タイトルを見るだけでもおもしろいです。実際にそのページを見てみてもおもしろいです。漫画もあり、子供たちの興味・関心を引き留めるという意味でもよいと思いました。

【高本副会長】

次は道徳についてです。

調査員からの報告書をもとに、その通りという意見でもいいですし、その他の点についてでも構いませんので、意見を出してください。

【高本副会長】

同じことにはなりますが、日本文教出版のノートのことになります。現在、上下学園では同じ視点で振り返りをするという取組みをしています。ノートがあると、独自の特色が出しにくいという面もあると思います。ノートがあるよさもあれば、学校の実態によってはない方がよい場合もあると考えられます。

【渡部会長】

発問の面で言えば、あかつき図書は難しい気がします。問いは2問構成となっていますが、抽象的なものが多いです。東京書籍や日本文教出版は、教材の後の問いによって考えを深めやすくなるような工夫が多いです。

学研の問いもあかつき図書ほどではないですが、考えを深めるのが難しい印象があります。学研のよさとしては、デジタルコンテンツの一覧があるので見やすいことです。

【杉原委員】

同じ題材を扱っている会社が4つあります。教育出版の場合、学びの道しるべが3段階で示してあり誘導的な印象を受けます。他の3社は、同じような主発問が設定されています。また、課題に沿って、「法や決まり」という大きなくくりでまとめられているのが日本文教出版と東京書籍です。挿絵について、日本文教出版だけが主発問で扱う人物にフォーカスをしています。

【高本副会長】

次は英語についてです。

調査員からの報告書をもとに、その通りという意見でもいいですし、その他の点についても構いませんので、意見を出してください。

【榎本委員】

東京書籍の報告書、第3の観点のところにも書いてありますが、ゴールに向かってスモールステップで積み上げられているという点は、苦手な子にとってもありがたいのではないのでしょうか。また、巻末資料が一番充実しているのではないかとも思っています。2年生では対比等がわかりやすく示されています。振り返って学習することについても配慮されていると思いました。

【渡部会長】

確かに、東京書籍は資料が充実していますね。

【高本副会長】

今、自己調整学習に取り組んでいますが、学習の仕方について、東京書籍であれば「学び方コーナー」であったり、「学習の見通しを立てよう」というところで、活動の目標や何を学ぶのかということが一覧にされています。自己調整学習をする上でよりどころとなると思います。

【杉原委員】

3年生の学習を何で締めくくるとかということを見てみました。東京書籍は、国際的問題に焦点を当てていたり、ディベートを取り入れていたりします。そして、説明文、最後は「はらぺこあおむし」で締めくくるスマートな流れになっています。他者は長い文章を読み取らせるものが多いです。啓林館はの文章は特に読み取りが難しい印象があります。

【吉岡委員】

内容の量はどこも同じですが、その内容への入り易さは東京書籍が1ランク2ランク上だと感じます。子供たちが学習に入りやすいものを選ぶのも一つの方法だと思います。

【奥村委員】

目次についてですが、各社テーマ、ゴール等が書いてありますが、東京書籍は、題材名の他に活動目標、文法事項という表が書いてあり、表記の仕方がわかりやすいと感じました。

【高本副会長】

以上をもちまして、第3回選定委員会を終了いたします。ありがとうございました。
それでは、事務局、事務連絡をお願いします。

【大垣主査】

本日も充実した選定協議を行ってくださり、ありがとうございました。最後に、私から、3点連絡いたします。

1点目は次回の選定委員会についてです。次回は、7月25日（木）13時30分から、この会場で行います。内容といたしましては、答申に向けたまとめとなります。

2点目は、第2回の議事録についてです。ご確認いただきましたら、ご署名・押印をお願いします。

3点目は、本日配付した資料についてです。前回同様、資料は封筒にすべて入れていただき、机の上に置いてお帰りください。

本日は、ありがとうございました。気を付けてお帰りください。